

第 3 期 阿見町まち・ひと・しごと創生総合戦略

～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～

【概要版】（案）

①計画の前提条件、総合戦略の趣旨

第 3 期阿見町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目的

- 第 3 期総合戦略では、本町が第 7 次総合計画で掲げる「2033 年の人口の見通し 50,000 人から 51,000 人」を達成するために必要な、短期間に優先的に取り組む施策について、デジタルも活用しながら戦略的に位置づけるものとします。

第 3 期阿見町まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間

- 第 3 期総合戦略の計画期間は、2025（令和 7）年度から 2027（令和 9）年度の 3 年間とします。

【第 3 期総合戦略の期間】

	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)
第 7 次 総合計画	基本構想									
	前期基本計画					後期基本計画				
総合戦略	2 期	第 3 期総合戦略					SDGs 目標 期限			

②阿見町の地域ビジョン

- 前期基本計画における政策目標は、本町の地方創生の取組にも通底するものであることから、当該計画に掲げる3つのリーディングプロジェクトを、本戦略の地域ビジョンとして位置づけ、一貫性のある施策展開のもとでその実現に向けた取組を加速させていきます。

「5万人都市にふさわしいまちづくり」

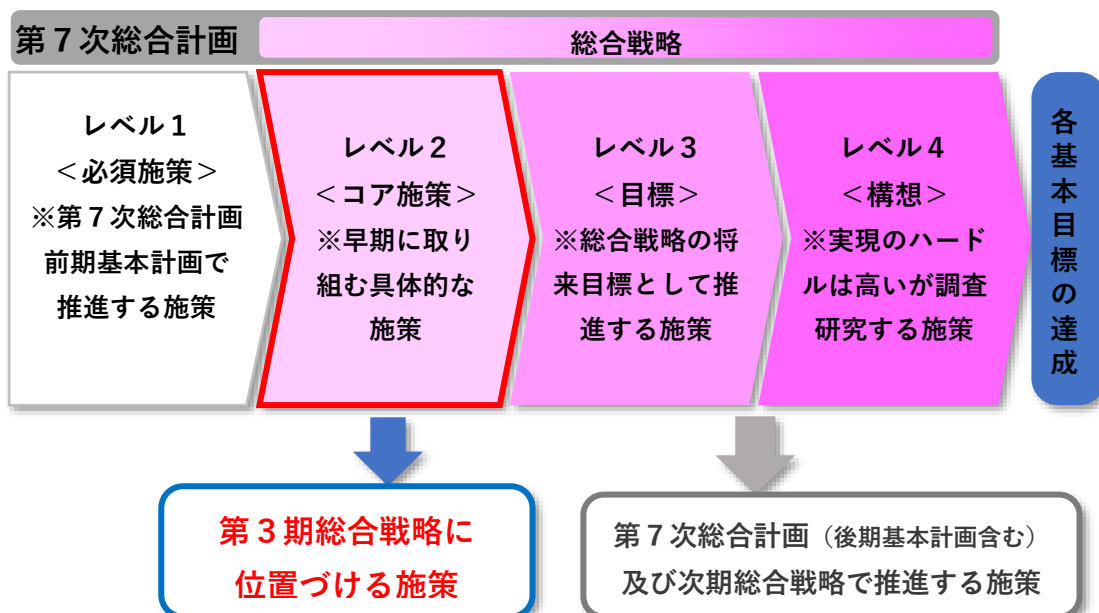
- (1) 子育て：若者・子育て世代に選ばれる5万人都市
- (2) 暮らし：暮らし続けることができる持続可能な都市
- (3) 誇り・愛着：人とまちへの誇り・愛着が育つ共生都市



③基本目標・施策

- 第3期総合戦略では、3年間という短期間に、地方創生に向けた具体的な取組を着実に進める必要があることから、総合戦略として早期に取り組むべき具体的な施策〈コア施策〉を位置づけます。

【基本目標に向けて必要な施策と優先順位】



基本目標の設定

- 国の総合戦略における施策の方向は、「デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上」であり、その中の「①地方に仕事をつくる」「②人の流れをつくる」「③結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「④魅力的な地域をつくる」を踏まえつつ、阿見町人口ビジョンにおける考察や、本町における強みや弱み、高校生・町民ワークショップの結果などから、4つの基本目標を設定します。

【第3期総合戦略で目指す地域ビジョンと基本目標の関係】

【地域ビジョン】

5万人都市にふさわしいまちづくり

第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略

		子育て	暮らし	誇り・愛着
基本目標1 「あみらしい多様な働き方ができるまち」	KGI	施策・KPI デジタル活用		施策・KPI
基本目標2 「魅力を発信し、新たな人の流れをつくるまち」	KGI		施策・KPI	施策・KPI デジタル活用
基本目標3 「まちぐるみで妊婦・子育て家庭を支え、若者や女性が活躍できるまち」	KGI	施策・KPI デジタル活用	施策・KPI	
基本目標4 「町内どこでも暮らしやすく、住み続けられるまち」	KGI	施策・KPI	施策・KPI デジタル活用	施策・KPI

基本目標 1 「あみらしい多様な働き方ができるまち」



町民がライフスタイルに合った働き方を選択できるよう、地域産業を活かした雇用の場や挑戦できる環境を整え、「あみらしい多様な働き方ができるまち」を目指します。

K G I（重要目標達成指標）	現況値（2024 年度）	目標値（2027 年度）
実質町内総生産（年間）	277,835（百万円）※1	284,394（百万円）

※1：令和3年度茨城県市町村民経済計算

①あみで暮らしながら働ける、誰もがチャレンジできる場の提供



〈施 策〉	〈K P I〉
・女性の活躍をサポート（ワーク・ライフ・バランスの推進）	男女共同参画社会講演会・講座への参加者数
・空き家等を活用したチャレンジショップの創業支援	町創業支援者数 （空き家等活用を含む）
・リスクリングの機会の提供	あみ未来塾の受講者数

②雇用機会創出のための情報提供の充実



〈施 策〉	〈K P I〉
・農商工連携と6次産業の活性化、地産地消の推進	認定農業者数 農業体験事業のメニュー数
・学生を対象とする人材育成	高校生向け企業説明会の満足度

③まちの未来を育て、職住近接のまちを実現する産業の創出



〈施 策〉	〈K P I〉
・牛久阿見インターチェンジ周辺開発	牛久阿見インターチェンジ周辺開発事業の進捗率

基本目標 2 「魅力を発信し、新たな人の流れをつくるまち」



若い世代をターゲットに、5万人都市「あみ」のブランド化を図り、誇りや愛着が持てるまちの「魅力を発信し、新たな人の流れをつくるまち」を目指します。

K G I (重要目標達成指標)	現況値 (2024 年度)	目標値 (2027 年度)
社会増数	+568 (人/年) ※2	+339 (人/年)
観光入込客数	3,026 (千人) ※3	3,463 (千人)

※2：茨城県常住人口調査 年報（令和5年） 社会増数（転入－転出）

※3：茨城の観光レクリエーション現況（令和5（2023）年観光客動態調査報告）

①あみシティブランドの創出と発信



〈施 策〉	〈K P I〉
・アウトドアを楽しめる滞在・体験プログラムの充実	滞在・体験プログラム数
・つくば霞ヶ浦りんりんロードの活用と整備	レンタサイクル貸出数
・国体跡地の利活用と体験プログラムの提供	国体跡地を利活用した体験プログラム等の開催数
・フィルムコミッションの活用と発信	映像ロケ地の案内件数
・3大学、町内企業等と連携した地域の活性化	大学や研究機関等が身近にあることで住み良くなっていると感じた町民の割合

②デジタルを活用した交流・関係人口の拡大



〈施 策〉	〈K P I〉
・デジタルを活用した関係人口の創出	観光協会 Facebook フォロワー数 Instagram フォロワー数
・あみでの暮らしの魅力やライフスタイルの発信（SNS活用）	あみメール ・ 町公式 LINE の登録者
・ふるさと納税の拡充による新たな縁づくり	本町への寄附金額（一般）

③若い世代を中心とした定住促進



〈施 策〉	〈K P I〉
・人を惹きつける荒川本郷地区の民間開発誘導の継続	地区計画の届出件数

基本目標 3「まちぐるみで妊婦・子育て家庭を支え、若者や女性が活躍できるまち」



居住年数や仕事の有無等に関わらず、安心して出産・子育てできるよう、「まちぐるみで妊婦・子育て家庭を支え、若者や女性が活躍できるまち」を目指します。

KGI（重要目標達成指標）	現況値（2024年度）	目標値（2027年度）
子育て世代の人口（25-39歳）	8,339（人）※4	8,595（人）
子育て支援の満足度	平均 3.19（点）※5	平均 3.44（点）

※4：茨城県常住人口調査 年齢別四半期報（令和6年10月1日現在）

※5：町民意向調査（令和4年6月実施）

①安心して、健康的に出産・子育てができる環境の充実



〈施策〉	〈KPI〉
・（仮称）子育て支援総合センターの整備（サービスの拠点化・総合化）	（仮称）子育て支援総合センター利用者数
・子育て情報のプラットフォーム化と使いやすさの向上	「あみ Link」登録者数
・給食費無料化の第2子への拡大	第2子以降給食費無料化数
・子育て支援住宅の整備	曙アパート改修工事により環境整備がされた割合
・町内外への子育て環境の魅力発信	子育て支援紹介ページ等へのアクセス数

②子育てと仕事の両立を支援



〈施策〉	〈KPI〉
・デジタルを活用した子育て支援（プッシュ型支援）の充実	「あみ Link」の情報発信連携事業数
・ワーク・ライフ・バランスの推進【再掲】	男女共同参画社会講演会・講座への参加者数

③子どもの可能性を開く教育環境づくり



〈施策〉	〈KPI〉
・時代に合った確かな学力を育成する教育の推進	児童生徒の学校の満足度
・学校、家庭、地域等の連携の充実	コミュニティ・スクールの数
・児童生徒の安全を守る環境整備	長寿命化・大規模改修工事の実施校数
・図書館等の充実と活用（児童図書の充実）	児童書の貸出冊数

基本目標 4 「町内どこでも暮らしやすく、住み続けられるまち」



地域交流や健康増進等の快適性、生活環境の利便性などを整え、地元住民や転入者等が、「町内どこでも暮らしやすく、住み続けられるまち」を目指します。

K G I（重要目標達成指標）	現況値（2024 年度）	目標値（2027 年度）
住みやすいと感じている町民の割合	85.6（％）※5	89.9（％）

※5：町民意向調査（令和4年6月実施）

①暮らしを支える地域交流の促進



〈施 策〉	〈K P I〉
・高齢者、若者、転入者等がコミュニケーションをとれる場所づくり	ふれあい地区館事業の参加者数
・町民の自治意識の向上とまちづくりへの参加	町民討議会参加者のうち10代・20代の参加者の割合
・産学官民連携プラットフォームを活用した地域課題の解決	連携事業数

②町民の健康増進



〈施 策〉	〈K P I〉
・大学 や企業等と連携した健康づくりの推進	連携事業数
・ライフステージに対応した健康づくり	健康づくりに関する普及啓発活動の実施回数
・屋内プールの整備	屋内プール整備の進捗率

③自然環境と調和のとれた都市環境の形成



〈施 策〉	〈K P I〉
・災害情報の収集・発信のデジタル活用	情報伝達（収集）手段の整備件数
・ごみの再資源化と減量化	ごみ資源化率 町民一人一日当たりのごみ排出量
・空き家対策の推進（生活環境面）	空地の雑草苦情による指導後の対応率 空き家バンクの登録物件数
・持続可能な住環境づくり（既存木造住宅の耐震化）	耐震診断・改修に対する補助の件数

④市制施行に向けた取組の推進



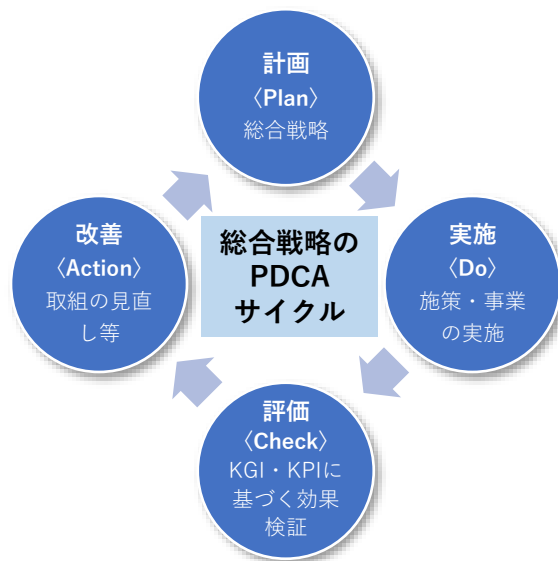
〈施 策〉	〈K P I〉
・デジタルを活用した窓口・行政サービスの向上（市制を見据えた総合窓口の整備）	窓口対応がスムーズだと回答した町民の割合 オンライン化した行政手続の業務数
・市制施行の推進	新市に期待する町民の割合

④総合戦略の推進

【第3期総合戦略のPDCA サイクル図】

総合戦略の進行管理

- 計画期間に本計画に位置づけた施策を着実に実施し、目標達成を図るため、PDCAサイクル（Plan：計画、Do：実施、Check：評価、Action：改善）による進行管理を行います。
- 毎年度、計画に設定したKGI及びKPIについて進捗状況の確認や評価を行い、施策・事業の効果を検証して、必要に応じて取組の見直しを行います。



総合戦略の推進体制

- 本計画の推進にあたっては、庁内関係各課、関係機関が連携し、町民、関係団体、NPO、民間事業者等の参加・協力を得ながら、地域が一体となって地方創生に取り組み、町外の人々に向けて、積極的な交流活動やプロモーション等を行っていきます。
- 効果検証に際しては、その妥当性・客観性を担保すると同時に、検証を踏まえた事業の見直しの効果を高めるため、町内企業や大学、金融機関等で構成する有識者会議等での審議を行いながら進めるものとします。

【第3期総合戦略の推進体制】

